

キャンリポ発

F1サーキット

広島工業大(広島市佐伯区)の「HITフォーミュラプロ

います。今年のチーム(13人)は、同大として8年ぶりに八つの審査項目全てをクリアし、日本自動車工業協会賞を受賞しました。
同じ車種で参戦できないため、1年かけて設計から始めます。2008年にプロジェクトがスタートして以来、走行審査の途中で故障してリタイアした年や、設計など静的審査はクリアしたものの走行審査に進めなかった年、車体が完成しなかった年もありま

車を設計・製作大会挑む

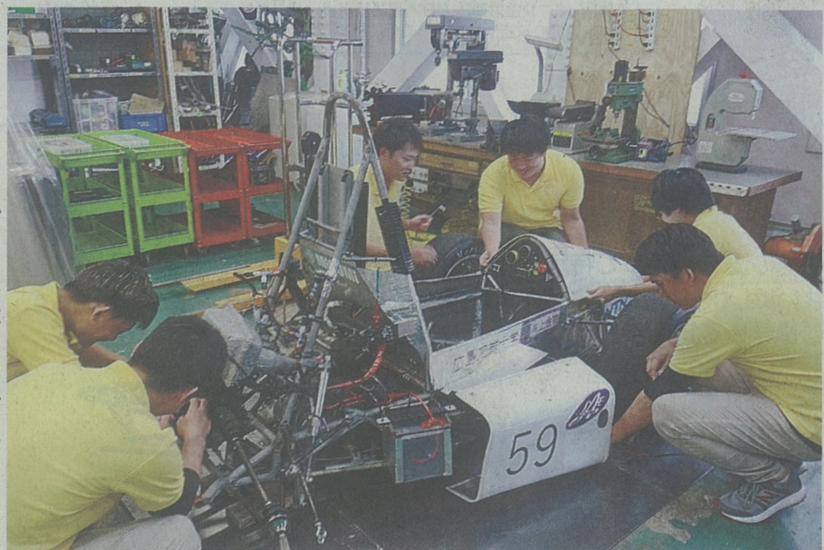
プロジェクト」は、学生自ら小型

レーシングカーを設計、製作し、「学生フォーミュラ日本大会」出場に向けて活動して

くりに携わりたい、大学でしかできないことに挑戦したいと集まりました。大会は8月下旬に静岡県で開かれ、約100チームが総合力を競いました。このうち全項目をクリアできたのは27台。本学は大会1カ月前に車両の不備が見つかり、短期間で一

から造り直しただけに涙の授賞式でした。

チームは学内のチャレンジ制度に応募し、7月の選考会で採択されて資金援助を受けました。大学はこの制度で、学生が自主企画した公益性の高いプログラムを応援しています。来年の大会でのさらなる成績向上を目指してチームは早速活動に入っています。



レーシングカーを造るメンバー

短期間で一



リーダーの知能機械工学科4年・広井笙太さん(21)

チームにとって知識、技術の伝承は、結果を出すために重要です。今後は、後輩へ学生フォーミュラに対する指導をしていきます。来年度は1、2年生が主体のチームとなるため、これまでの経験を基に、さらなる成績向上を狙ってほしい。



「学生フォーミュラ日本大会」で走行するプロジェクトの車



食品生命科学科2年・近藤令奈が取材しました